

永良部百合の花

Ver 1.0

本調子

2 / 2

一、永良部百合の 花亜米利加に
咲かちヤリク又 咲かちヤリク又

うりが黄金花 島によ 咲かさ

アングワ ヨーサトウ

ナイチャ シュンガ シュンガ

三、百合球(たま)ぬ美らさ くる抱
き

しめてヤリク又 しめてヤリク又

永良部女童(みわらび)ぬ 身持ち

よ美らさ

アングワ ヨーサトウ

ナイチャ シュンガ シュンガ

五、出船入船ぬ 和泊の

港(んなど)ヤリク又 港ヤリク又

百合の賑わいに 島はよ 明ける

アングワ ヨーサトウ

ナイチャ シュンガ シュンガ

二、如何(いきや)し 横浜ぬ波荒さ

あてもヤリク又 あてもヤリク又

百合やしているなよ 島ぬよ 宝

アングワ ヨーサトウ

ナイチャ シュンガ シュンガ

四、百合や島育ち 吾(わ)ちやも

島育ちヤリク又 島育(すだ)ちや

リク又

選(えら)たでい選ばらぬ 者(む

ぬ)によ なゆり

アングワ ヨーサトウ

ナイチャ シュンガ シュンガ

六、百合作(ちやく)てい遊ば 黒糖(

さた)作てい

暮さヤリク又 暮さヤリク又

互(たげ)に働らちゆて 浮世(う

きゆ)よ 渡ら

アングワ ヨーサトウ

ナイチャ シュンガ シュンガ